

ぶんけい

教育ほっとにゅーす

かわら版

こみち

No.125

2019 March
3月号(一財)総合初等教育研究所参与
前 国士館大学教授

北 俊夫先生



今月のことば

うごくしゅう
鳥合の衆

鳥がてんでに集まつたり
散つたりするよう、
規律も統制も統一も
なく、ただ寄り集まつた
群衆のことをいいます。

教員の勤務は改善されたか

- 教員の働き方改革は、単なるかけ声や一過性の取り組みではなく、仕事の内容や方法を不斷に見なおすことによって実現していきます。
- 働き方改革は教師の意識改革でもあります。教職に対する伝統的な価値観を変え、教師としての新しい生き方が問われています。

教員の働き方改革の経緯

教員の勤務時間が異常に長いなど、教員の働き方改革が話題になって、1年数ヶ月がたちました。教員の勤務の状況は改善されたでしょうか。

中央教育審議会で教員の働き方について審議が始まったのは、平成29年6月です。文部科学大臣から「新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について」の諮問を受けたものです。審議の結果は同年12月22日に「中間まとめ」として公表されました。これを受けて、文部科学省は12月26日に「学校における働き方改革に関する緊急対策」を公表しました。

「中間まとめ」では、代表的な業務の分担について、具体的な例をあげて次のように示しました。

まず、教育委員会や保護者、地域ボランティアなど学校以外の人が担う業務として、登下校に関する対応、放課後から夜間などにおける見回り、児童生徒が補導された時の対応、学校徴収金の徴収・管理、地域ボランティアとの連絡・調整などをあげています。

また、学校の業務ではありますが、必ずしも教師が担う必要のない業務と

して、調査・統計への回答、児童生徒の休み時間における対応、校内清掃などをあげています。部活動は学校の判断により実施しない場合もあるとしています。これらは事務職員や地域ボランティア、部活動指導員など外部の人材が担うことができるとしました。

さらに、給食時の対応、授業準備、学習評価や成績処理、学校行事の準備・運営などは、学校や教師の業務ですが、教師の負担を軽減することが可能な業務であるとして、一部を外部の人材がサポートすることができると示しました。

これらの業務はいまどのように実施されているのでしょうか、各学校で点検してみてはどうでしょうか。

勤務体制改善のポイント

文部科学省は、中教審での議論を経て、このほど時間外勤務（いわゆる残業）の上限を月45時間、年間360時間とする指針を示しました。

従来の勤務体制を改善するには、これまでの慣行による組織運営体制を抜本的に見なおすとともに、教員の勤務や勤務時間に対する意識を変えることがポイントです。具体的には次のような取り組みが考えられます。

まずは、教育委員会の方針を踏まえ

砂糖の日
(3月10日)

砂糖には脳を活性化させるブドウ糖を供給する役割があります。砂糖の優れた栄養価を見なおす日です。

「さ(3)とう(10)」の語呂合わせです。

て学校としての方針を確定し、地域の関係機関の人たちに積極的に働きかけていく必要があります。その際、管理職を窓口に、学校と地域が一体になって取り組むことが大切です。保護者や地域住民の理解と協力を得られるように、保護者などへの普及・啓発と意識改革を求めることが必要です。

いまひとつのポイントは制度改革とともに、教員一人一人の意識を変えることです。「緊急対策」でも「勤務時間に関する意識改革」を指摘しています。これまで曖昧にされてきた勤務時間の管理を徹底する必要があります。

例えばICTの活用やタイムカードによって勤務時間を客観的に把握し、集計するシステムを構築します。このことは一般的の公務員や会社員などに実施されていることを教員においても導入するということです。留守番電話の設置や一定期間の学校閉庁日を行っている学校や地域もあります。

このような取り組みは、教職に対する考え方や教師のあり方とも深く関わっており、教師としての伝統的な生き方を大きく変えるものです。教員に対する人事評価の指標を見なおす必要も出てきます。これからは業務内容を削減するとともに、時間という資源を有効に活用し、職務を効率的に実施するマネジメント力が問われます。

こんなときどうする!

パソコンが機能しない

研究授業の場でした。前日にはきちんと機能していたのですが、パソコンが動かなくなってしまったのです。このようなときどのように対処したらよいのでしょうか。

研究授業の場で、パソコンが機能しない。当事者のあわてぶりが目に浮かびます。研究授業だけでなく、研究発表会などでも事前に点検・準備していたにもかかわらず、こうした事態に遭遇することはあるようです。

まずは、はやる気持ちを落ちつかせて、自分の知識や技術や経験を生かして試行します。それでも駄目なときには校内の先生や参観者の応援を求めます。パソコンの操作に長けた先生が同席していることもあるからです。こうした対処をしているとき、一時的に授業がストップしてしまいますが、やむを得ません。子どもたちが騒ぎだしたときには制止させます。

トラブルの原因が見つからず、数分間試みても解決できない場合には、いつまでも関わらずに、パソコンを操作しない方法で授業を続行させます。その場で指導方法を変える、授業者の勇断が求められます。

そのためには、万が一パソコンが機能しないときの指導方法についても計画しておきます。空振りになることもあります、代替えの対策を考えておくことが最大の危機管理です。



教育の動向

子どものスポーツの費用

玩具メーカーのバンダイは、昨年の8月に小学1年生から中学3年生までの子どもをもつ親、900人を対象に「小中学生のスポーツに関する意識調査」を実施しました。

調査によると、体育の授業以外で行っているスポーツをきいたところ、男子は、サッカー(16.4%)、水泳(15.1%)、野球(6.7%)の順でした。一方女子は、水泳(16.2%)、ダンス(チアリーディング等を含む)(7.1%)、テニス(5.1%)の順でした。

子どものスポーツにかけている年間

の費用は、1万円以上5万円未満が29.7%と最も多く、次いで5万円以上10万円未満が25.9%でした。10万円以上かけている家庭は14.7%でした。年間に5万円以上かけている家庭は40%にもなります。平均金額は、51,478円でした。

行っているスポーツごとの平均年間金額は、野球が63,543円、水泳が52,650円、サッカーが50,444円、テニスが46,047円、バスケットボールが31,778円でした。競技によって金額に大きな差があることが明らかになりました。

同調査は、好きなスポーツ選手についても聞いています。男子の1位は大谷翔平さん(野球)、女子は浅田真央さん(フィギュアスケート)でした。

「思考力・判断力・表現力」の 指導と評価 その5

能力が備える基本性格

思考力、判断力、表現力の指導や評価方法を考えるとき、これらの能力のもつている基本的な性格を確認することが大切です。思考力、判断力、表現力とはどのようなものでしょうか。

知識や技能が「量的な学力」と言われるのに対して、思考力、判断力、表現力は「質的な学力」と言われています。知識や技能は短時間で習得できるものもありますが、思考力、判断力、表現力はじっくり時間をかけて指導しなければ育っていきません。一朝一夕には実現できません。時間がかかる学力です。このことは、指導の成果や結果がすぐに表れないことを意味しており、1単位時間で育ったかどうかを判断することはできません。長期的な視野で評価することが求められます。

知識や技能を習得した状況は比較的目に見えやすいものです。知識を理解しているかどうか。技能を身につけているかどうかは、ペーパーテストや実技テストなどを実施することにより、容易に評価することができます。ところが、思考力、判断力、表現力は育った結果が目に見えるかたちで表れません。従来の考え方によるペーパーテストでは育ちの状況を把握したり評価したりすることができません。知識や技能を問う問題になりがちです。

以上のことから、学力を海に浮かぶ氷山にたとえると、海面上に見える部分が知識や技能です。一方、海面下に沈んでいる部分が思考力、判断力、表現力です。氷山の海面上の部分は海面下の約7分の1に過ぎないとされています。思考力、判断力、表現力は学力の多くの容積を占めています。

INFORMATION

ぶんけいの選べるテスト!



2019年度 ぶんけいテスト 新企画!

国語 言葉の力 読み取る力 シート
算数 単元 テスト

2~6年生 対応

つまずきの傾向を発見!
つまずきの解消!

見 H 国
P書
れか教
材が
あります!

言葉の力 読み取る力 シート → 単元 テスト

QRコード

従来のイエローページ(前学年までの復習)とあわせて年度当初に実施。クラスの読み取る力の実態の把握とその後の指導に活かせます! WEBカタログはコチラ!

編集後記

サラリーマンは1日に5分、多い人は10分何か探しものをしていると言われます。年間240日働くとすると、1年間で40時間。とても長い時間です。働く環境を整えて新年度に臨みたいものです。(K記)

企画・編集：ぶんけい教育研究所

発行：株式会社文溪堂

発行日：2019年3月1日